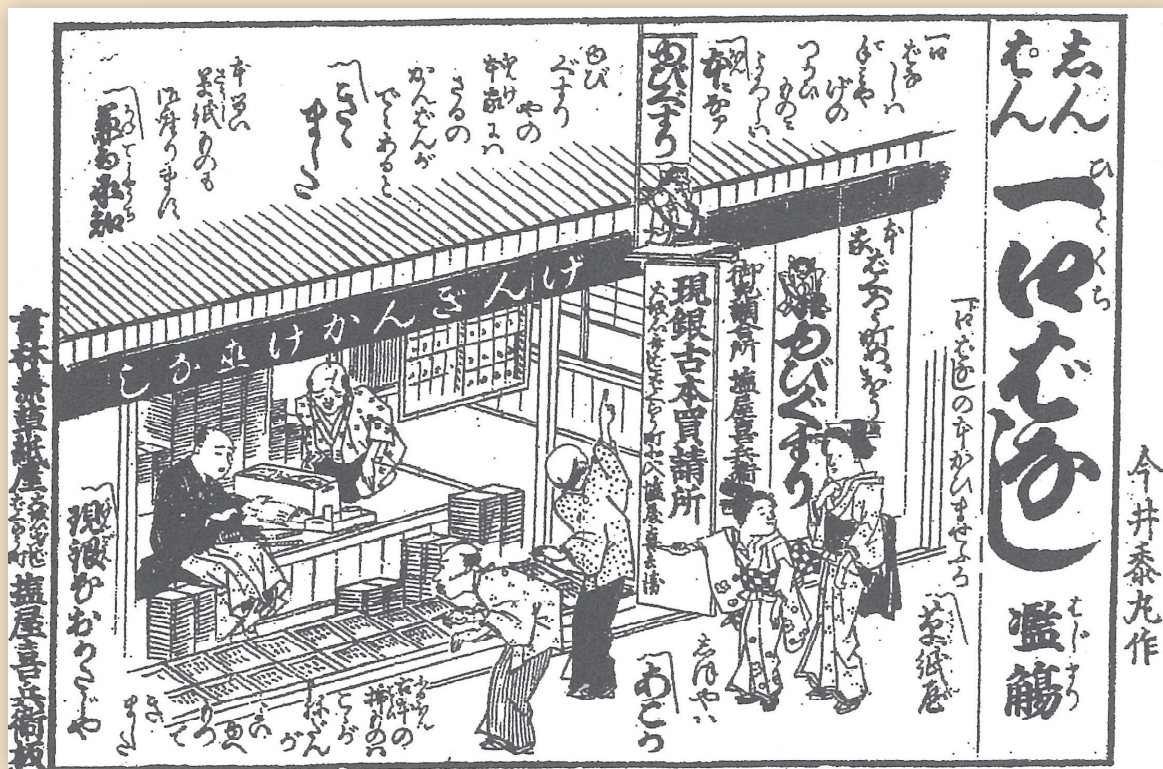
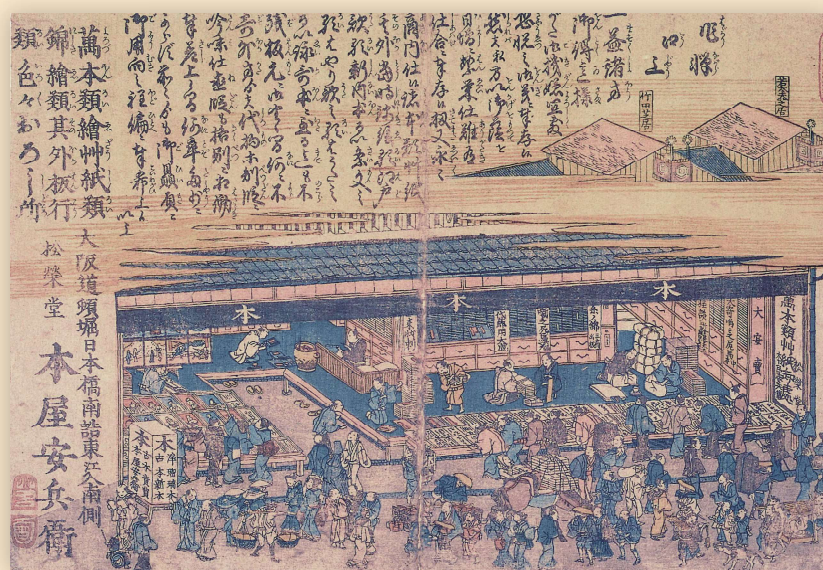


# 江戸時代の本屋

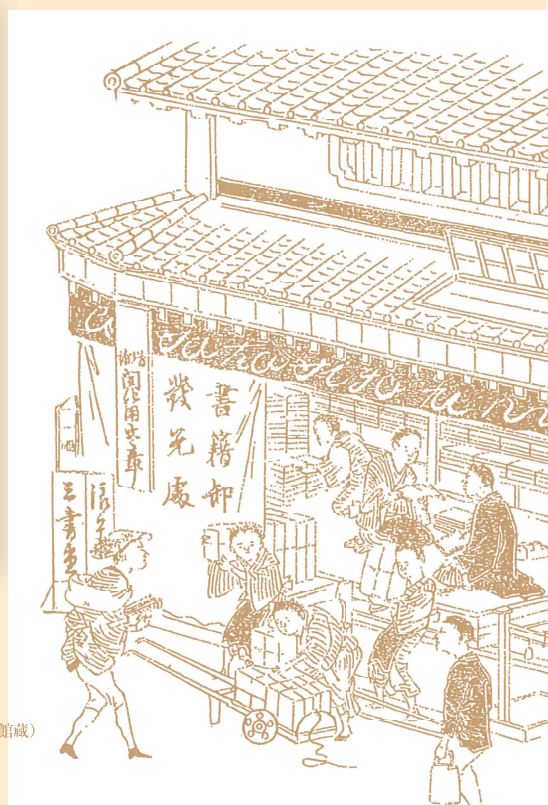
江戸時代には出版業者は出版、印刷、卸、小売を兼ねるところが多く、本屋、書林、書肆などと呼ばれた。当時の引札（宣伝用チラシ）を見ると店頭の様子がよくわかる。



塩屋喜兵衛店頭図 天保ごろ（1830-43）『難波土産』より



本屋安兵衛引札  
（大阪府立中之島図書館所蔵）



「増補開架用文章」  
（大阪府立中之島図書館蔵）